

<平成 25 年度>

管理部の取り組み実績

教育総務課
学校規模調整課
学校給食課

■ 基本方針 ■

平成 25 年度は、「幼稚園の耐震化」、「小中学校のトイレの改善」、「中学校給食への取り組み」などを重点施策とし、子どもたちが安全に安心して学校園へ通うことができるよう、教育委員会の基本目標である「学びを支える学習環境」の充実に努めます。

実績

- ・幼稚園の耐震化や小中学校のトイレ改善、中学校給食への取り組みなどの重点施策について、計画的に事業を実施し、学習環境の充実を図った。

I 重点施策・事業

◆学校園の安全対策の実施

平成24年度に引き続き、小学校の監視カメラおよび校門のオートロック装置に連動したワイヤレスモニター子機付きインターホンの活用に加えて、来校者の多い時間帯及び下校時間帯に合わせた安全監視員等の配置を行います。また、幼稚園5園の耐震補強工事を実施し、安全・安心な学校園の教育環境の確保を図ります。

実績

- ・学校安全監視事業については、監視カメラ等の活用に加え、安全監視員等の配置を行い、学校の安全確保を図ることができた。
- ・幼稚園耐震補強事業については、5園の耐震補強工事を完了した。



行う安全監視ボランティア
小学校の校門の安全監視を

◆学校園施設・学習環境の整備

平成24年度に引き続き、空調設備と緑のカーテン・緑のじゅうたん等の植栽の適切な維持管理により、環境学習を推進します。また、老朽化する学校園の施設・設備の機能回復を図るため、計画的な改修を進めます。特に、小中学校のトイレについては、老朽化対応としてドライ方式に改造するとともに洋式トイレや多目的トイレの整備、壁・天井の塗替え・張替えなどを実施し、また、教室棟のフロアに洋式トイレのない小学校には、洋式トイレの整備を進めるなど、平成25年度は、8 小学校・4中学校について環境整備に取り組みます。



ドライ方式によるトイレ改造（山之上小学校）

実績

- ・空調設備と緑のカーテン・緑のじゅうたん等の植栽について、適切な維持管理を行った。
- ・老朽化する学校園の施設・設備について、計画的に改修し、機能回復を図った。
- ・トイレ改造工事を2小学校・1中学校で、トイレ美装工事を4小学校・3中学校で行い、洋式トイレを3小学校で整備した。

◆学校規模等の適正化の推進

「枚方市学校規模等適正化基本方針」に基づき、適正化の具体的な方策や実施時期等について検討を進め、「平成25年度枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定します。また、「平成24年度枚方市学校規模等適正化実施プラン」に基づき、枚方小学校の児童の増加に伴う教室不足による過密化を解消するため、校舎増築工事に着手します。

実績

- ・「平成25年度枚方市学校規模等適正化実施プラン」を策定し、川越小学校と東香里中学校が一小一中の接続関係となるよう通学区域の変更を行った。また、枚方小学校で普通教室4教室を増築した。



枚方小学校増築校舎

◆学校給食の充実

中学校給食について、選択制の共同調理場(ランチボックス)方式による共同調理場の整備に向けた取り組みを進めるとともに、老朽化した小学校給食共同調理場についても、中学校給食共同調理場と合築することにより、効果的な施設整備をめざします。平成25年度は、用地測量・施設の設計を進めます。

また、小学校給食を通じて地域産業や食文化への関心と理解を高め、食物や生産者に対する感謝の念を醸成するため、引き続き、枚方産・府内産農産物の利用を進めます。

実績

- ・小中学校給食共同調理場の用地を取得し、基本設計を行った。
- ・中学校給食の配膳室(受入施設)の実施設計を行った。
- ・枚方産、大阪府内産農作物の利用促進に努めた。

II 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン(前期)の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
33. 技能労務職員等の配置基準の見直し(学校園校務業務・学校給食調理業務)	技能労務職員等が従事する業務について、セーフティネットの確保や業務の効率化等の視点から検証を行い、職員配置基準の見直しを行う。

実績

- ・学校園校務業務・学校給食調理業務のあり方について、取りまとめに向けた検討を進めた。

改革課題	取り組み内容・目標
44. 施設の使用料の見直し③市立学校園の施設開放事業	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との事業統合などの方針を決定し、電気使用料等の実費相当額の負担について具体化を検討する。

実績

- ・学校園施設開放に係る制度の運用状況について実態調査を行い、事業統合に向けた検討を進めた。

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
学校園校務員業務	知識・技能の継承や効果的・効率的な運用が継続的に行えるよう正職員とその他の任用形態の職員の適切な配置を検討する。

実績

- ・全 75 校園を 9 ブロックに編成し、ブロック単位の会議を開催し情報共有を図るとともに、業務の応援や共同化を通じ、知識・技能の継承や効果的・効率的な運用を確保する観点から、正職員とその他の任用形態の職員の適切な配置について検討を進めた。



より安全・安心な学校給食の実現へ

その他実績

- ・市立小中学校全 64 校の電力調達について特定規模電気事業者（PPS）等を活用し、約 4000 万円の経費の節減を図った。

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆平成 25 年度に計上予定の学校トイレ改善事業などの投資的事業について、国の経済対策による臨時交付金等を活用するため、平成 24 年度 3 月補正予算に前倒して計上するなど予算を工夫して財源確保を行い、効率的に執行します。

実績

- ・臨時交付金等を活用するため、学校トイレ改善事業等を平成 24 年度 3 月補正予算に前倒して計上し、3843 万円の財源を確保した。

- ◆これまで費用を負担して廃棄処分していた古い ICT 機器について、売り払いに変更し、収入の確保を図るなど、効率的な予算執行に努めます。

実績

- ・ICT 機器の更新時期等の見直しを行い、効率的な予算執行を図った。

その他実績

- ・小学校給食の米飯食缶の仕様と調達方法の見直しを試行し、調達経費の縮減を図った。

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
業務の執行の再検討とマニュアル化	業務の流れを再検討し、円滑な執行に向けて業務マニュアルを順次、作成する。

実績

- ・人事給与事務に関する業務の手順を示したマニュアルを作成した。
- ・学校情報セキュリティポリシー、学校情報セキュリティ対策基準等運用マニュアルを作成した。
- ・学校園施設修繕の事務に関する効率化、分担の明確化を図るため、マニュアルを作成し、学校園が使用する事務手引に掲載した。
- ・平成 26 年 4 月からの運用開始に向け、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」を作成した。

IV 組織運営・人材育成

- ◆管理部の基本目標である「学びを支える学習環境」の充実をめざすため、目標の共有化を図り、部内の緊密な連携による効果的な組織運営に努めます。

実績

- ・教育委員会連絡会議、教育委員会次長会議、部内事務連絡会議を適宜実施し、目標の共有化と緊密な連携を図った。また、各課においては、効果的な事務執行のため、課内会議等を適宜実施した。

- ◆給食調理など技術を要する業務や情報通信技術など専門性が求められる分野については、業務ノウハウの継承を図り、業務継続性を確保できる人材育成に努めます。

実績

- ・調理員や栄養教諭等を対象に、食物アレルギー、衛生管理、災害時の炊き出し等についての研修・訓練を実施した。
- ・eラーニングによる情報セキュリティ研修や情報通信技術に関する専門研修を受講した。

- ◆学校教育の情報化を体系的に進めるにあたり、ICT活用の推進に関する人材の育成に取り組み、子どもたちの情報活用能力の育成や学びの場における情報通信技術の活用を図っていきます。

実績

- ・教職員の事務の軽減と、学校内の情報セキュリティの向上を図るため、校務支援システムを平成26年度から導入することとした。
- ・枚方市立学校情報セキュリティポリシーを策定し、全小中学校の情報教育担当者を対象に研修を実施した。

その他実績

- ・学校施設整備計画の策定に向け、先進都市（名古屋市）の視察を実施した。

V 広報・情報発信

◆〈ホームページ・情報発信の充実〉

本市教育委員会の活動や学校園における学習環境整備状況など、子どもたちの教育環境にかかわる情報を保護者や市民にわかりやすく提供するとともに、都市ブランドである「教育文化都市ひらかた」の発信に努めます。

また、写真や動画などを活用し、見やすく、興味がわくホームページとなるよう構成を再検討し、新鮮な情報を発信できるよう工夫します。

実績

- ・FMひらかた「ひらかた教育ステーション」において、教育に関する事務の点検及び評価、中学校給食の特集、学習環境の整備など、教育委員会の取組について放送し、また教育委員会定例会・協議会の会議録をホームページに掲載するなど、広く市民に情報発信を図った。
- ・広報ひらかた平成26年3月号において、小中学校給食共同調理場の整備、食物アレルギー対応、中学校昼食弁当の販売について特集記事を掲載した。
- ・市民が利用しやすいホームページとなるようにホームページの見直しを随時図った。

<平成 25 年度>

学校教育部の取り組み実績

教職員課
児童生徒支援室
学務課
教育推進室教育指導課
教育推進室教育研修課

■ 基本方針 ■

平成25年度は、「学習規律の定着」のもと、「学びの連続性の確立」を重点項目とした第Ⅱ期枚方市小中連携事業を推進します。

また、市費負担教員等の配置により、小学校での少人数学級によるきめ細かな指導と中学校での生徒指導体制の再編を図ります。

このことにより、質の高い教育環境づくりを推進し、教育委員会の基本目標である「笑顔あふれる学校園」「学ぶ喜びのある学校園」「信頼される学校園」をめざします。

実績

- ・各中学校区において、義務教育9年間を見据えたカリキュラム（指導計画）の研究・実践や小中連携推進リーダー連絡会等における、研究成果の普及・交流を行うことで小中学校の連携に係る取り組みを推進することができた。
- ・生徒指導主事が各学校における生徒指導の要となることで、関係機関等との連携がより密になるとともに、スクールカウンセラーの活用を更に進め生徒指導問題の解決に努めた。

I 重点施策・事業

◆枚方市小中連携事業

知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むため、各中学校区の課題等を踏まえて設定した教科・領域及び研究テーマに基づき、3年間をかけて義務教育9年間を見据えたカリキュラム（指導計画）の実践に取り組みます。

実績

- 以下のことを通じて小中学校の連携を深めることができた。
- ・各中学校区において学習規律の定着を図る取り組みを推進した。

- ・各中学校区での小中合同の研修会を定期的に開催した。
- ・各中学校区で設定した一つの教科・領域についてカリキュラムの実践・研究に取り組んだ。
- ・小中連携推進リーダー連絡会を年間6回開催し、研究成果の発表及び各中学校区の取組の交流を図った。

◆枚方市生徒指導体制充実事業

全中学校で、これまで以上にスクールカウンセラー等との連携を図り、子どもたちの声を受けとめ、いじめの未然防止や早期発見など、きめ細かな生徒指導を重点的に進めます。

このことにより、生徒にとって安全・安心な教育環境づくりを推進し、生徒の豊かな人格形成を行います。

実績

- ・生徒指導主事が生徒指導業務に専念する体制が整い、スクールカウンセラー等と情報交換する機会や子どもとの対話時間が増えた。また、全小中学校で生活アンケート等を実施することにより悩みや不安のサインへの気づきが早期にできるようになり、いじめ等の未然防止、早期発見につながった。
- ・全中学校のうち、いじめ認知件数が、前年度より減少した中学校が19校中15校であった。また、認知総件数が17.7%減少した。（暫定）
- ・不登校生徒数（30日以上欠席）は、前年度より若干の減に留まった。（暫定）
- ・府補助金による消費生活センター事業と連携して、ポータブルゲーム機やスマートフォンの普及における若年層のインターネット接続被害、特にSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）利用等に係る研修等を23小中学校で実施した。（延べ参加人数：児童生徒4,485名、保護者240名、教職員529名）

◆枚方市少人数学級充実事業

平成24年度から開始した、小学校第3学年までの枚方市独自の35人少人数学級編制を継続します。

このことにより、保護者との連携を深めながら、落ち着いた学習環境を確立し、個別指導や繰り返し指導などのきめ細かな指導の充実を図るとともに、支援学級在籍児童との交流や共同学習の充実を図ります。

実績

- ・市独自の少人数学級編制により学級数が増える学校に市費負担の任期付教員を配置した。(24校25名)
- ・質問紙調査を実施し効果検証を行ったことで、保護者との連携を深め、落ち着いた学習環境の確立や、個別指導、繰り返し指導などのきめ細かな指導の充実を図ることができた。

◆枚方市英語教育推進事業

小中学校間の連携のもと、英語によるコミュニケーション能力を育成するため、全中学校に各校1名の外国人英語教育指導助手(NET)を、全小学校に英語が堪能な日本人の英語教育指導助手(JTE)を配置し、小中学校における英語教育を推進します。

実績

- ・全中学校に外国人の枚方市英語教育指導助手(NET)を、全小学校に日本人の枚方市英語教育指導助手(JTE)を配置し、外国語活動、英語教育の充実に努めることができた。

◆教職員の資質・能力の向上

教職員の資質・能力の向上を図るため、経験・職能に応じた研修や教科等の専門性を高める専門研修を実施します。

また、いじめや体罰などの教育課題の解決に向けた研修を充実にします。

実績

- ・教職員研修を年265回実施し、教職員の資質と指導力の向上を図ることができた。
- ・管理職研修や初任者研修等において、いじめの未然防止及び体罰の根絶に向けた研

修を8回実施し、のべ611名が受講した。このことにより、教職員の人権感覚や人権意識の高揚を図ることができた。

- ・各学校において、「枚方市生徒指導マニュアル(体罰防止編)、(いじめ防止編)」を用い、校内での研修を行った。

II 行政改革・業務改善

＜行政改革実施プラン(前期)の改革課題＞

改革課題	取り組み内容・目標
2. まちづくりの学習機会の充実	小学校第3・4学年の社会見学について、関連機関・施設と連携し、学習プログラムを作成する。

実績

- ・学習プログラム作成に向けて、学校の実施状況の把握を行った。
- ・第3学年は、1校あたり2.4回、第4学年は、1校あたり2.6回の学習機会があった。
- ・社会見学として、第3学年が41、第4学年が38の施設等で実施した。

改革課題	取り組み内容・目標
11. 体験学習の充実	社会福祉施設の訪問・交流活動などに取り組む。

実績

- ・高齢者施設や社会福祉施設への訪問・交流を行い、行事に参加する等の体験学習を行った。
- ・車椅子体験・アイマスク体験・介護体験等を行った。

改革課題	取り組み内容・目標
13. 防災教育の充実・防災キャンプの推進	子どもたちが参画する防災訓練「学校防災キャンプ」を推進する。

実績

- ・樟葉南小学校(7月 91名参加)、高陵小学校(8月 93名参加)において、地域と連携した学校防災キャンプを実施した。

改革課題	取り組み内容・目標
19③. 閉園幼稚園施設の活用	公立幼稚園の効果的・効率的な運営・配置をすすめる
実績 <ul style="list-style-type: none"> 田口山幼稚園に駐車場及び駐輪場、蹉跎西幼稚園に駐輪場を設置し、通園距離が遠くなる園児の通園手段を確保することができた。 殿山第二幼稚園・津田幼稚園は留守家庭児童会室に、桜丘幼稚園・樟葉南幼稚園は、保育所や地域子育て拠点施設に活用することを決定した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
39. 業務委託の拡大	交通専従員・交通指導員の業務内容の整理、配置基準の見直しを行い、業務委託の拡大を進める。
実績 <ul style="list-style-type: none"> 交通専従員等3名が活動を終了する場所については、委託による配置に転換した。 	

改革課題	取り組み内容・目標
44. 施設の使用料の見直し ④教育文化センター	教育文化センターについて、平成26年度中の有料化をめざす。
実績 <ul style="list-style-type: none"> 平成26年4月からの施設利用の有料化を決定した。 	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
「いじめ専用ホットライン」推進事業	引き続き電話相談を行い、いじめ等の早期発見・早期対応に努める。
実績 <ul style="list-style-type: none"> いじめ問題等の早期解決の糸口として電話相談を受け、適宜、学校と連携して早期解決に努めた。(電話相談：37件) 	

事務事業	取り組み内容・目標
奨学金事業	運用の改善について検討を行う。
実績 <ul style="list-style-type: none"> 国が、高校生等奨学給付金制度を創設し平成26年度より支給することを決定したため、平成26年度の募集について選定基準の見直しを行った。 	

事務事業	取り組み内容・目標
学校版環境マネジメントシステム事業	平成23年度を測定基準年とし、学校園において、省エネルギー、光熱水費の削減に取り組む。
実績 <ul style="list-style-type: none"> 75校園がS-EMS実践校園の認定を受け、各校園が具体的な取組方法を掲げ、光熱水費の削減に向けて取り組んだ。 	

事務事業	取り組み内容・目標
基礎学力向上プロジェクト事業	小中学校において、朝学習、授業、放課後学習等における自学自習力支援システムの有効活用を継続する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> 市内全小中学校で放課後自習教室を実施した。朝学習、授業においても自学自習力支援システムの活用を図った。 研究指定校による研究発表会(1月30日)を行った。 	

事務事業	取り組み内容・目標
「まなびング」サポート事業	大学生のサポーターと合わせて地域人材活用の拡充に取り組む。
実績 <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度は、枚方市立小中学校で175名の大学生・元教職員等が、まなびング・サポーターとして活動した。 	

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
満足度の高い窓口・電話対応	効果的な部内研修を実施し、今後も丁寧な対応に努める。
実績 ・窓口・電話対応があるすべての課において、応接について職場研修を行うなどして丁寧な対応に努めた。	

Ⅲ 予算編成・執行

- ◆子どもたちが生き生きと学校生活を送ることができるよう、いじめや非行などへの対応が重要かつ緊急との判断から、全中学校で生徒指導体制を再構築します。(4600万円)

実績

- ・中学校 19校のうち、7校に任期付教員を配置し、残りの12校には非常勤講師を配置して、生徒指導主事が生徒指導業務に専念できる体制を整えた。

- ◆英語で自分の考えや意見を伝えられる生徒を育成するために、府が実施する「使える英語プロジェクト事業」の補助金を活用し、「読む」「書く」「聞く」「話す」をバランスよくはぐくむ授業の実践と家庭学習の充実をめざして研究を推進します。

実績

- ・8中学校区 24小中学校での外国語活動・英語科の公開授業を年間37回実施し、具体的な実践の研修を通じて、教員の指導力の向上を図った。
- ・ICT教育関連機器等を購入し、授業実践に役立てた。

その他の実績

- ・自学自習力支援システムのコンテンツ契約方法や管理コストの見直しにより約280万円の経費を削減した。

Ⅳ 組織運営・人材育成

- ◆学校教育部の組織目標である質の高い教育環境づくりの充実をめざすため、目標の共有化を図り、部内の緊密な連携による効果的な組織運営に努めます。

実績

- ・定期的に各課長を招集し、各課の事業の進捗状況や課題などを共有するために部内会議を開催した。

- ◆平成26年度の中核市移行に向け、本市独自の教職員研修計画を策定し、様々な課題に対応するための教職員の資質・能力の向上を図ります。

実績

- ・市の教育課題や教育施策に対応した研修を実施できることなど中核市移行の利点を生かし、教職員の資質・能力の一層の向上を図るため、平成26年度教職員研修計画を策定した。

- ◆学校と教育委員会の連携をさらに深め、多様化・複雑化する教育の課題に対して、今後も適切に対応していきます。

実績

- ・保護者対応等学校が抱える課題に対して学校問題サポート員や弁護士の専門的な立場から助言を受けることで適切に対応することができた。

Ⅴ 広報・情報発信

- ◆ホームページ・情報発信の充実

学校園や教育委員会主催の特色ある取組をホームページに掲載するなど、「教育文化都市ひらかた」を広く情報発信します。

また、各学校園が日常の教育活動などをホームページなどに掲載するなど、保護者、市民への情報発信に努めます。

実績

- ・教育委員会や学校園のホームページで教育委員会主催行事や学校園の取組を掲載し、情報発信に努めた。

<平成 25 年度>

社会教育部の取り組み実績

社会教育課
文化財課
スポーツ振興課
中央図書館

■ 基本方針 ■

平成25年度は、社会教育における市民ニーズの把握に取り組み、各種事業や所管施設の運営に反映することにより各分野における市民満足度の向上を図ります。

これにより教育委員会の基本目標である「学びを支え心をつなぐ社会教育」、「歴史文化遺産の保存と活用」、「スポーツ活動の活性化」、「生涯学習を支援し、情報活用環境を高める図書館サービス」の達成をめざします。

実績

- ・社会教育における市民ニーズの把握に取り組み、各種事業や所管施設の運営に反映したことによって、「歴史文化遺産の保存と活用」、「スポーツ活動の活性化」分野において市民満足度の向上に努めた。

I 重点施策・事業

◆登録文化財制度創設事業

成立年代や性格等の理由により文化財指定にはなじまないが、地域に連綿と受け継がれ、地域の歴史にとって欠くことのできない文化財を登録する制度を創設します。平成25年度は登録文化財に関する要綱を制定し、登録文化財候補の調査を行います。



宗左の辻の道標

実績

- ・平成25年9月27日付で「枚方市登録文化財に関する要綱」を制定し、「宗左の辻の道標」他2件を平成26年4月1日付けで枚方市登録文化財に登録することを決定した。

◆特別史跡百済寺跡再整備事業

特別史跡百済寺跡の再整備に向けた発掘調査を継続して進めるとともに、平成 25 年度に基本計画・基本設計を完了させます。

実績

- ・最終年次調査として第9年次発掘調査を行い、発掘調査を完了するとともに、基本計画・基本設計を完了した。

◆社会教育主催事業

人が地域で生きていく上で必要な社会制度等に関する情報や知識等を学ぶ機会を提供するため、講座や講演会を開催します。

実績

- ・親を考えるセミナー（5月）、思春期セミナー（7月）、社会教育基礎講座（7月・2月）、父親の家庭教育参加促進事業（8月・3月）、親学習講座（9月・11月）、教育講演会（2月/P T Aと共催）を実施し、市民が家庭や地域で生活する上で必要な基礎的な知識・技術の提供に努めた。

◆トップアスリートとのふれあい事業

トップアスリートとふれあう機会をつくることで子どもたちの夢を育み、青少年のスポーツへの関心を高め、夢と魅力あふれるまちづくりに寄与します。平成 25 年度は水泳と女子サッカーのオリンピック選手を招聘し、教室を開催します。

実績

・ロンドンオリンピック銀メダリスト松田丈志選手を招いての水泳体験教室（8月）、ロンドンオリンピック銀メダリストの丸山桂里奈選手を招いてのサッカー体験教室（1月）を開催した。参加者のアンケートでは、ほぼ全員から満足の感想を得、好評であった。



トップアスリートとのふれあい事業

◆子ども読書活動推進事業

乳幼児・児童から中高生までの子どもたちが読書に親しみ、読書を楽しめる環境づくりを推進します。また市立図書館と学校図書館との連携を推進します

実績

・乳幼児から小学生を対象にしたおはなし会（通年）の実施や、枚方出身の「絵本作家ミロコマチコさんと絵を描こう」（8月）「中学生の調べ学習コンクール」（12月）「こころをつたえよう！ひらかた朗読大会」（1月）等のほか、子ども夢基金活用事業「いのちのメッセージ～中高生の課外授業」（7月・8月・12月）を開催し、子どもたちが読書を楽しめる環境づくりを推進した。また、学校図書館への団体貸出や訪問おはなし会などを行い、学校との連携を進めることができた。

◆図書館サービス推進事業

図書や雑誌、電子情報などの幅広い情報の提供を行うとともに、読書会や講演会などの図書館文化事業を実施します。また市民の疑問等の解消に役立つレファレンスサービスの周知に努め、市民に利用を働きかけます。

実績

・市民の教養・読書ニーズに応え、幅広い資料の提供を行うとともに、成人対象の読書会や、図書館への来館のきっかけづくりとしての歌とおはなしの会、コンサートなどの各種行事を開催した。また、パスファインダー（情報の調べ方案内）を作成した。

Ⅱ 行政改革・業務改善

<行政改革実施プラン（前期）の改革課題>

改革課題	取り組み内容・目標
19.市有財産等の有効活用 ④野外活動センター活用計画の策定	進入路整備を踏まえた野外活動センター活用計画の策定に取り組む

実績

・進入路の基本設計を行った。現状把握と施設の利用促進に向け、市内小学校を訪問し施設のPRとニーズを調査した。

改革課題	取り組み内容・目標
27.市内スポーツ施設の管理運営体制の一元化	スポーツ施設の管理運営体制一元化に向け検討を行う。

実績

・新施設予約システムを平成25年11月から稼動したことにより、スポーツ施設の使用申込期間等を統一した。

改革課題	取り組み内容・目標
28.生涯学習施設と図書館の効率的な管理運営	施設の役割を踏まえた今後の管理運営方針を策定する。

実績

・生涯学習施設と図書館の複合施設への指定管理者制度導入の方向性を決定した。

改革課題	取り組み内容・目標
29.外郭団体等における中期的な「経営プラン」の策定	(公財)枚方体育協会に「経営プラン」の策定をはたらきかけ、(公財)枚方市文化財研究調査会については行政との役割分担等について見直しを行う。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)枚方体育協会が平成24年度に策定した「経営プラン」(経営計画2012)の内容について、検証を行った。 ・(公財)枚方市文化財研究調査会との役割分担等について、課題の抽出を行った。 	

改革課題	取り組み内容・目標
37.指定管理者制度の導入拡大	伊加賀スポーツセンターに指定管理者制度の導入を図る。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・伊加賀スポーツセンターに平成26年度から指定管理者制度を導入するため、公募による選定手続きを行った。 	

改革課題	取り組み内容・目標
44.施設の使用料の見直し ③市立学校園の施設開放事業	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業との事業統合などの方針を決定し、電気使用料等の実費相当額の負担について具体化を検討する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・学校園施設開放に係る制度の運用状況について実態調査を行い、事業統合に向けた検討を進めた。 	

<事務事業総点検に係る対応>

事務事業	取り組み内容・目標
社会教育主催事業	社会教育の役割を踏まえ生涯学習課との連携を強化し、効果的な事業を企画実施する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育の役割を踏まえ、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術に係る、親学習講座など様々な事業を実施した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
古文書講座開催事業	受講料の徴収に向けた受講者アンケートを実施する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・受講料の徴収に向けた受講者アンケートを実施し、一部講座で受講料を徴収することを決定した。 	

事務事業	取り組み内容・目標
図書館運営事業	市内全域サービスを基本とした中央図書館、分館、分室の各図書館施設と自動車文庫について、サービスにおける最適な役割分担や配置を検討する。
実績 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の効果的な管理運営に向けた役割分担について、考え方の整理を行った。 	



歌と音楽のおはなし会 (中央図書館)

<業務改善のテーマ・目標>

テーマ	取り組み内容・目標
市民対応における市民満足度の向上	市民等からの社会教育分野における専門的な問合せに対し、各分野において所属職員が同じレベルで対応できるよう知識や情報の共有化を図る。

実績

- ・専門的な問合せ内容とその回答について情報共有を行い、所属職員の力量のボトムアップを図った。

テーマ	取り組み内容・目標
省エネ意識の向上	普段から省エネを意識し、事業やイベントにおいても省エネ行動を励行する。

実績

- ・日常の事務執行において省エネ行動を徹底するだけでなく、イベント時においてもイベント開催間際まで点灯しない、資料等の作成時に適正数を見極め無駄な印刷を行わないなど、細部にわたり省エネ行動を励行した。

III 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金の活用を図ります。(6件 1350万円)

実績

- ・文化財保存事業に国庫補助金の活用を図った。(6件 1307万円)

IV 組織運営・人材育成

- ◆文化財行政やスポーツ行政、図書館行政など専門的な業務を担う部内各分野の職員が知識や技術を積極的に習得し、業務に反映させることにより人材育成を図ります。また、質の

高い市民サービスを提供するため、各分野において、業務に係る職員研修を実施し、職員の資質向上をめざします。

実績

- ・現在まで培ってきた専門的な知識・技術の継承に向けて、経験豊富な職員が経験の浅い職員に対して指導を行うとともに、各分野の専門的な知識・技術の向上のため、各種研修を行った。

- ◆職員一人ひとりが普段から市民目線に立った事務改善を意識し、効果的・効率的な事務執行に努めます。

実績

- ・説明責任を意識した市民対応を行うとともに、業務の重要性・緊急性に応じた事務執行に努めた。

V 広報・情報発信

- ◆ホームページの充実

社会教育部関係の事業を効果的にPRするための工夫を検討実施します。また、開催結果などをタイムリーに伝えるためにホームページの更新作業を密に行います。

実績

- ・事業PRにおけるホームページ利用を徹底し、事業決定後の迅速な掲載とわかりやすい表示に努めた。

- ◆効果的な事業PR

広報やホームページだけでなく、関連事業や他の市主催事業など様々な場面で事業宣伝活動を行います。また、マスコミへの情報提供を積極的に行い、「教育文化都市ひらかた」を広く発信していきます。

実績

- ・市の広報媒体だけでなく、地域情報誌等マスコミへの情報提供を積極的に行い、事業PRに努めた。